

教室における着席行動の研究(1)

古 澤 暁

座席指定がなく、座席選択の自由が受講者に許されている教室で、受講者が、自分の着席する座席の位置を決める着席行動には、受講者のその時の気持が座席位置に投影されていると考えられる。

たとえば、それは、最も気分的に落ち着き、授業に積極的に参加できる座席の位置はどこか、また、反対に、目立たない座席の位置はどこか、その他、親しい友人の隣の座席にしたい等々。

※着席行動とは、教室での授業の際、受講者が、教室内の座席を選択して、その座席に着席する行動のことである。

教室内の着席行動についての最近の報告には、池田・渋谷(1980)、北川(1977～1981)、北川・平松・綱島(1980)、古澤(1981)等がある。

池田・渋谷(1980)は、ある教室における授業で、学期中の学生の着席位置の記録による生態学的研究をしている。この研究では、学生に好まれる座席は、前列から3～5列目で、中央寄りである。最前列は必ずしも好まれない。出席率は、授業回数の進行とともに低下し、学生集団の教卓からの平均距離は、授業回数の進行とともに遠ざかる傾向がみられるという。成績との関係では、出席回数と成績の間には、正の相関があり、教卓からの平均着席距離が遠ざかるにつれて、成績は低くなる傾向がみられるという。着席位置の変動の大きい人は、成績の低い人に多くみられ、それは、特に、前後方向の変動に著しいとの結果を得ている。

北川(1977)は、質問紙法によって研究して、座席選択行動の傾向を、①完全固定席(最前部で、そこに座る者が常に決まっている。)②不完全固定席(中央部で、そこに座る者が、だいたい決まっている。)③自由席(四隅で、そこに座る者が一定していない。)と3つの類型ができるとしており、

学生の座席行動には、一貫性があることを認めている。

北川(1979)は、座席位置の決定要因は、どこに座りたいか、どこに座りたくないか、の好悪感情が指向性、回避性として認められると述べている。

北川(1980)は、座席選択の理由を因子分析して、①受講積極性(前列・左右中央列指向) 黒板の字がよく見える。先生の声がよく聞える。②窓際指向(左右端列指向) 窓ぎわで明るいから、窓の外の景色が見えるから。③対友人親和性(後部・左右端列指向) 目立ちたくないの、友人が席を取ってくれてくれるので。④逃避傾向(後列指向) 居眠りするの都合がいい、内職するために都合がいい。と分析している。

北川・平松・綱島(1980)は性格特性からの分析を試みている。高不安群は教卓から離れて座る傾向があり、前列を回避する。このことは、高不安者は対人距離を大きくとることと対応している。教室の中央部に座る者は、安定、積極的である。座席行動には、教師との eye-contact の機会の多少などの関係がありそうだと述べている。

北川(1981)は、座席位置の移動を追跡して、座席の移動のほとんどは、左右方向で、前後の移動は小さいという。座席位置による移動量は、①後列になるほど大きい。②左右端列になるほど大きい。③左右の端列になるほど前後の移動量が大きい。④後列になるほど左右の移動が大きい。⑤教師の位置から離れるほど前後・左右に大きく移動する。移動は、教卓を中心とした同心円上を振り子のように移動する。性格特性では、移動量が小さいものは、移動量の大きいものより情緒的に不安定、消極的で前列に座る傾向がみられ、また、一定の座席位置に固執するのかもしれないと述べている。安定・積極的なものは、後列に座り、その安定さのゆえに、その時に空いている座席ならどこにでも座っても気にならないのではないだろうかと述べている。

古澤(1981)は、受講者の着席行動を学期中継続して観察記録した実践的観察による研究である。

教室における受講者の着席行動を研究する立場には、法則定立的方向と実践的方向の2つの研究方向がある。前者は法則や原理の追求の理論的研究である。後者は教育実践の場での一回的な出来事として、具体的事例についての診断や処理といった個人を問題にする実践的研究である。古澤は、

教室における着席行動の研究(1)

教育心理学の問題として、研究対象（受講者）の着席行動に意図的・計画的に何等かの操作を加えて、観察者自らが、受講者に働きかけて、着席行動に変化を生じさせ、その変化の過程を観察する方法で、教育実践の研究を意図しているのである。

今回の研究では、受講者が学期中に着席した座席位置の観察記録をとることによって、座席位置移動の1資料を得ることを目的としている。

方法

1. この研究では、A・B・C・D・Eの5クラスについて資料をとった。
2. いずれのクラスにおいても座席は受講者の自由意志に任せられ、自由選択である。
3. 資料は通常の授業の出欠の記録として、受講者に着席した座席位置を出席カードに記入させる方法と、出席の点呼をとり座席位置を確認する方法をとった。
4. 調査時期・調査対象・授業科目・受講者数・授業回数・教室の座席数等は、表1にまとめている。

表 1.

ク ラ ス	A	B	C	D	E
調 査 時 期	1970年10月～ 1971年 2月	1980年 4月～9月	1981年 4月～9月	1981年 4月～9月	1982年 4月～9月
調 査 対 象	女 子 短 大 1 年 生	女 子 短 大 2 年 生	女 子 短 大 2 年 生	国 立 大 学 1 年 生	女 子 大 学 1 年・2 年 生
授 業 科 目	心 理 学	教 育 心 理 学	教 育 心 理 学	教 育 心 理 学	心 理 学
受 講 者 数	46名	48名	52名	48名	7 名
授 業 回 数	13回	15回	12回	18回	18回
座 席 数	7×9=63席	14×9=126席	14×9=126席	9×10=90席	6×6=30席
操 作 の 有 無	有	有	無	無	無

5. クラスAとBには、観察者が意図的・計画的に、授業中に質問や教科書の朗読をさせることによって、受講者の着席行動に働きかけ、操作を加えた。

操作を加えたのは、教室後方の座席位置（受講者集団の後方座席位置）に着席している受講者に対して試みた。それは、教室後方の座席位置に着

席する受講者は、授業への参加が消極的で逃避的な傾向が多くみられるので、授業に参加させることを目的に操作を試みたのである。

クラスBでは、最初の授業の際に、着席希望座席位置の調査をして、最も希望の多かった座席位置(41・42・43・51・52・53)に着席している受講者に対しても操作を加えることを試みた。それは、受講者の着席行動と意図的に操作を加えることとの関係を調べるためである。

6. クラスC・D・Eには、意図的操作を加えることはしなかった。任意に質問や教科書の朗読をさせることで授業をおこなった。

教室

教室内の机の配置は、教卓に対して平行に配置されている。

クラスA・B・Cの教室は、教卓に向かって左側が、南に面した窓、右側が廊下との仕切壁と教室の前後の2か所に出入口がある。

クラスDの教室は、教卓に向かって左側が、南に面した窓、右側が北に面した窓、教室の後方が階段との仕切壁と出入口が1か所である。

クラスEの教室は、教卓に向かって左右とも隣の教室との仕切壁、教室の後方が西に面した窓、出入口は教室の前方に1か所である。

座席位置の表示と数量化

座席位置を数量化するために、各座席について、前後方向で前から1行・2行とかぞえ、左右方向を左から1列・2列とかぞえて、2桁の座席番号をつけた。表2(クラスA)に示すように、7行×9列のマトリックスとみなした。他のクラスについても同様である。

結果と考察

1. 前後方向座席占有率(好まれる座席位置)

クラスBは、前から3行目、クラスCは、前から5行目の占有率が高い(図1・表4・表5)。

これは、後方座席に操作を加えたクラスBの受講者が後方座席に着席するのを回避しているのである。受講者集団の教卓からの距離が、クラスB 4.15・クラスC 5.47となっているように、クラスBは、クラスCより前方座席位置に着席しているのである。

また、クラスBでは、左側中ほどの座席が受講者に好まれる座席位置(41・42・43・51・52・53)であるのに、そこに操作を加えたために、授業回数4・5・7回目は空席になって目立った。しかし操作をやめると着席されるようになった。

操作を加えたクラスの座席移動は、明らかに、その影響が認められる。クラスAとクラスDを比較すると対象的である(図3)。

クラスAでは、前後方向で操作を加えた後方の座席を回避して、前方の座席に受講者が集まってきている(図3・表3)。操作を加えていないクラスDは後方に多くの受講者が集まっている(図3・表6)。ただし、クラスAは1970年、クラスDは1980年の学生である。

操作を加えることによって、クラスA・クラスBでは、受講者を後方座席から前方座席へ移動させることができたのである。

クラスDでは、受講者の着席行動に何等の操作も加えなかった。また、座席占有調べのみで、出欠を取らないときもあった。それで受講者集団の教卓からの距離が、授業回数の進行とともに遠ざかっていった(図5)。これは大学入学当初の頃の授業では、教室の前方の座席に着席していた受講者が、大学生活に慣れてくるにつれて教室の後方の座席に移動していったのであろう(図5)。

このことは、池田・渋谷(1980)も指摘している。

受講者集団が教室後方の位置に集中するクラスの受講態度は、おとなしく講義を聴き、ノートを取って、静かに授業に参加しているようであるが、一面では消極的な学習態度であるということができるといえる。

2. 左右方向での座席占有率

3列並んだ座席では、その真中の座席が、その左右の座席より占有率が高くなるのである(図2・図4)(表3・表4・表5)。これは、3人横並びに着席する受講者たちと2人横並びに着席する受講者たちがいることによっておこるのである。

クラスDでは、授業回数の進行とともに、受講者集団が2群化している傾向がみられる(図6)。左右方向からみて、2・3・4列目と8・9・10列目とに分かれている。これはクラスの編成が2つの専攻課程の学生から構成されているので、それぞれの専攻課程ごとに友人ができていからである。

また、左右方向5・6・7列(教室の中央)を回避する傾向がみられるのは(図6)、教師との視線交渉を避けたいためであろう。

3. 友人関係(隣の座席に並んで着席する受講者たち)

表7にみられるクラスAの座席移動の軌跡から、横並びに隣合わせの座席に着席する友人関係をみると、3人が8組、2人が10組、単独が2人とに分けることができる。席取り、座席の移動が同一歩調であり、その組合わせは、授業回数2・3回頃から安定して固定化している。

クラスEは、選択科目で、受講者数が少なく、3人・2人・2人と横並びに着席し、座席位置の移動がなく、安定していた。それは、前から2行目と3行目である。

4. クラスDには、常に後方座席に着席して学習に遠慮がちに参加している再履習の上級生の姿が目についた。

5. 座席位置移動の軌跡については、表7にクラスAのものを示した。最初の授業で操作を加えた座席番号72に着席していたNo.9の受講者の軌跡(図7)は、後方座席位置から右側前方に移動している。図8は、左右方向に移動するNo.5・No.35の例、図9は、前後方向に移動するNo.8・No.31と固定席No.10の例、図10は、毎回座席位置を変えているNo.46の例である。

要約

本研究は、着席行動のうち、座席位置の移動について調べた。

受講者の自由な着席行動と観察者の意図的な操作が加えられた着席行動とを比較した。前者が後者よりも、教卓からの平均距離が大きく遠ざかっていた。

受講者の教卓からの平均距離が大きい場合教室後方の座席位置に操作を加えることにより受講者の教卓からの平均距離が小さくなって対人空間の調整をすることができた。

教室における着席行動の研究(1)

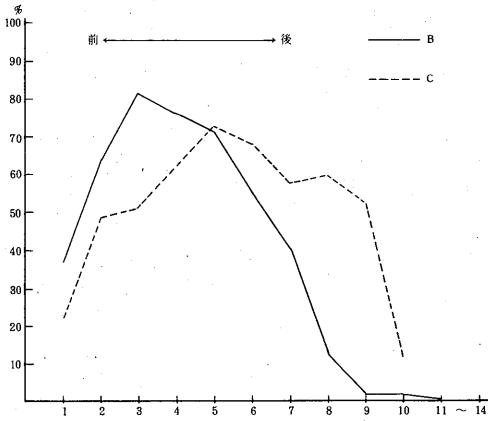


図1. クラスB・クラスCの前後方向の座席占有率

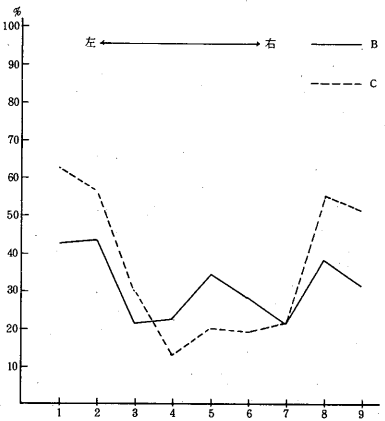


図2. クラスB・クラスCの左右方向の座席占有率

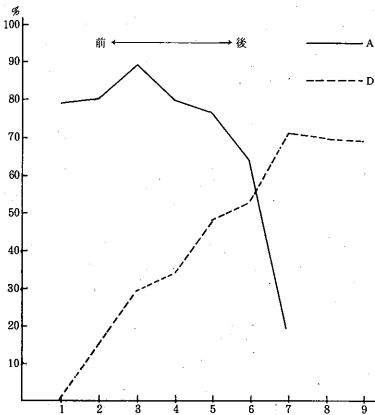


図3. クラスA・クラスDの前後方向の座席占有率

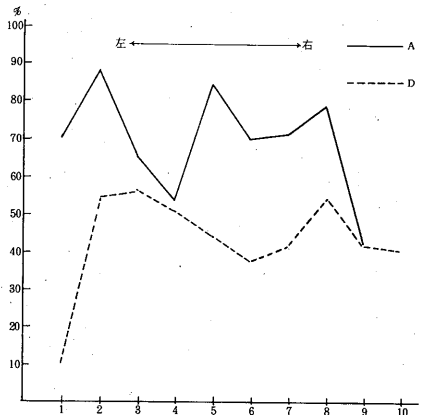


図4. クラスA・クラスDの左右方向の座席占有率

教室における着席行動の研究(1)

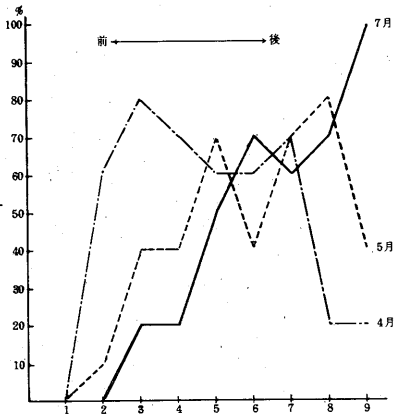


図5. クラスDの時間的変化
前後方向の座席占有率

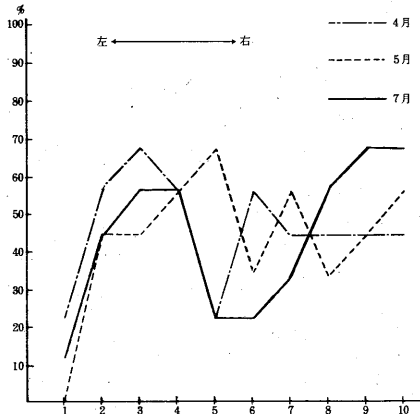


図6. クラスDの時間的変化
左右方向の座席占有率

表2. クラスAの座席位置マトリックス

		教 卓 05								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
1		11	12	13	14	15	16	17	18	19
2		21	22	23	24	25	26	27	28	29
3		31	32	33	34	35	36	37	38	39
4		41	42	43	44	45	46	47	48	49
5		51	52	53	54	55	56	57	58	59
6		61	62	63	64	65	66	67	68	69
7		71	72	73	74	75	76	77	78	79

表3. クラスAの座席占有率

		教 卓									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1		100	100	84.6	53.8	69.2	69.2	92.3	92.3	46.2	78.6
2		—	100	100	69.2	92.3	92.3	100	100	61.5	79.5
3		84.6	100	92.3	69.2	100	92.3	92.3	100	69.2	88.9
4		92.3	76.9	69.2	30.8	100	92.3	92.3	100	61.5	79.5
5		100	100	53.8	46.2	100	76.9	69.2	92.3	53.8	76.9
6		84.6	92.3	53.8	61.5	84.6	69.2	53.8	69.2	7.7	64.1
7		30.8	46.2	7.7	42.2	46.2	—	—	—	—	19.7
		70.3	87.9	65.9	53.8	84.6	70.3	71.4	79.1	42.9	69.6

教室における着席行動の研究(1)

表4. クラスBの座席占有率

教卓																													
1			2			3			4			5																	
1	66.7	66.7	83.3	20.0	26.7	26.7	20.0	40.0	26.7	36.8	1	41.7	41.7	25.0	—	8.3	8.3	16.7	25.0	25.0	21.3								
2	80.0	73.3	20.0	46.7	66.7	60.0	40.0	93.3	86.7	63.0	2	91.7	91.7	66.7	8.3	8.3	—	25.0	75.0	75.0	49.1								
3	86.7	93.3	73.3	53.3	86.7	80.0	53.3	100	100	80.7	3	100	83.3	25.0	16.7	25.0	25.0	50.0	91.7	41.7	50.9								
4	66.7	80.0	46.7	60.0	93.3	73.3	66.7	100	93.3	75.6	4	100	83.3	41.7	41.7	33.3	33.3	33.3	100	83.3	61.1								
5	86.7	80.0	60.0	40.0	86.7	46.7	46.7	100	86.7	70.4	5	100	100	83.3	41.7	50.0	58.3	50.0	91.7	75.0	72.2								
6	86.7	86.7	26.7	40.0	66.7	60.0	26.7	53.3	46.7	54.8	6	100	100	66.7	16.7	33.3	41.7	50.0	100	100	67.6								
7	73.3	86.7	33.3	46.7	46.7	40.0	20.0	20.0	—	40.7	7	100	83.3	83.3	25.0	41.7	33.3	25.0	91.7	83.3	57.4								
8	26.7	26.7	—	6.7	6.7	6.7	20.0	20.0	—	12.6	8	100	83.3	8.8	25.0	50.0	50.0	33.3	83.3	100	59.3								
9	6.7	—	—	—	—	—	6.7	6.7	—	2.2	9	91.7	75.0	50.0	—	25.0	16.7	16.7	91.7	100	51.9								
10	6.7	6.7	6.7	—	—	—	—	—	—	2.2	10	41.7	41.7	16.7	—	—	—	—	16.6	25.0	15.7								
11	6.7	—	—	—	—	—	—	—	—	0.7	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
42.4			42.9			21.4			22.4			34.3			28.1			21.4			38.1			31.4			31.4		

表5. クラスCの座席占有率

教卓																													
1			2			3			4			5																	
1	41.7	41.7	25.0	—	8.3	8.3	16.7	25.0	25.0	21.3																			
2	91.7	91.7	66.7	8.3	8.3	—	25.0	75.0	75.0	49.1																			
3	100	83.3	25.0	16.7	25.0	25.0	50.0	91.7	41.7	50.9																			
4	100	83.3	41.7	41.7	33.3	33.3	33.3	100	83.3	61.1																			
5	100	100	83.3	41.7	50.0	58.3	50.0	91.7	75.0	72.2																			
6	100	100	66.7	16.7	33.3	41.7	50.0	100	100	67.6																			
7	100	83.3	83.3	25.0	41.7	33.3	25.0	91.7	83.3	57.4																			
8	100	83.3	8.8	25.0	50.0	50.0	33.3	83.3	100	59.3																			
9	91.7	75.0	50.0	—	25.0	16.7	16.7	91.7	100	51.9																			
10	41.7	41.7	16.7	—	—	—	—	16.6	25.0	15.7																			
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																			
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																			
13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																			
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																			
61.9			56.0			29.8			12.5			19.6			19.0			21.4			54.8			50.6			36.2		

表6. クラスDの座席占有率

教卓																																
1			2			3			4			5																				
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																			
2	—	10	20	10	10	10	10	10	60	10	10	15	15																			
3	—	20	40	30	40	40	20	50	80	20	29	29	29																			
4	—	50	40	50	50	50	30	20	20	30	34	34	34																			
5	—	60	80	80	30	50	40	50	50	40	48	48	48																			
6	10	70	60	40	40	50	70	60	60	70	53	53	53																			
7	30	100	90	80	80	30	70	90	80	60	71	71	71																			
8	80	90	90	90	70	40	70	80	80	60	70	70	70																			
9	20	90	80	80	80	70	70	70	50	80	69	69	69																			
10.0			54.4			55.6			51.1			44.4			37.8			42.2			54.4			42.2			41.1			43.3		

教室における着席行動の研究(1)

表7. クラスAの座席移動の軌跡

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	※は固定席
番号 月日	10/14	10/21	10/28	11/11	11/18	11/25	12/2	12/9	12/16	1/18	1/20	1/27	2/3	
1	11	11	13	11	11	17	11	11	11	11	11	11	11	※
2	12	12	12	12	12	—	12	12	12	12	12	12	12	※
3	18	13	11	13	13	18	13	13	13	13	13	13	13	※
4	39	15	16	15	15	14	—	14	14	19	19	19	19	
5	15	14	15	14	14	16	15	16	16	17	17	17	17	
6	38	16	17	16	16	15	16	15	15	18	18	18	18	
7	18	18	19	37	37	37	37	27	27	57	47	47	47	
8	17	17	18	—	38	38	38	28	28	58	48	48	48	
9	72	29	39	41	39	39	39	29	29	59	49	49	49	
10	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	※
11	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	※
12	43	24	24	24	24	25	63	63	63	24	63	44	24	
13	58	25	25	25	25	25	—	25	25	25	25	34	25	
14	26	66	27	26	26	26	26	26	26	26	26	66	26	
15	27	27	28	27	27	27	27	17	17	48	37	38	37	
16	28	28	29	28	28	28	28	18	18	47	38	39	38	
17	24	31	31	31	31	31	31	—	31	31	32	31	31	※
18	25	32	32	32	32	32	32	32	32	32	—	32	32	※
19	62	43	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	※
20	35	35	35	35	35	12	18	34	35	38	29	29	29	
21	36	36	36	—	36	13	17	35	34	37	28	28	28	
22	34	34	34	34	—	11	19	36	36	39	27	27	27	
23	31	38	45	44	—	51	36	56	46	27	36	26	46	
24	32	39	47	45	—	52	35	55	45	28	35	25	45	
25	33	37	46	46	—	53	34	54	44	29	34	24	44	
26	67	59	38	48	48	48	48	38	37	45	45	35	35	
27	68	58	37	47	47	47	47	37	38	46	46	36	36	
28	51	51	41	51	—	41	51	41	41	41	51	41	41	
29	52	52	42	—	—	42	52	—	42	42	52	42	42	
30	63	53	43	52	43	43	53	42	43	43	53	43	43	
31	45	45	65	—	45	35	45	45	65	35	55	45	55	
32	46	46	64	38	46	36	46	—	66	36	56	46	56	
33	58	62	48	57	57	68	58	48	48	56	58	51	58	
34	59	61	49	58	58	67	57	47	47	55	57	52	57	
35	54	55	56	55	51	61	67	51	51	51	68	55	51	
36	55	—	55	54	52	62	68	52	—	52	67	54	52	
37	56	56	57	56	55	63	68	66	52	—	41	56	58	
38	41	71	61	71	61	71	61	61	61	71	61	61	61	
39	42	72	62	72	62	72	62	62	62	72	62	62	62	
40	65	64	67	63	64	55	55	65	54	65	65	64	73	
41	64	65	66	43	65	54	56	64	55	66	66	65	72	
42	57	47	59	68	—	58	65	75	75	75	75	75	65	
43	37	48	58	67	68	59	64	74	74	74	74	74	—	
44	16	26	14	17	18	49	49	49	57	69	64	68	68	
45	48	42	51	62	74	46	42	—	59	68	—	59	—	
46	49	41	52	61	75	45	41	39	58	67	—	58	—	

教室における着席行動の研究(1)

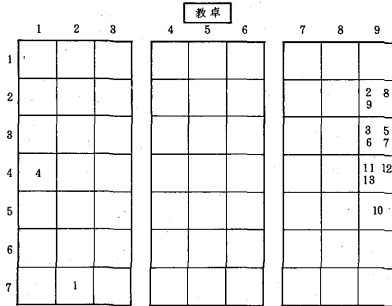


図7. 系9の座席移動軌跡
1～13は授業回数

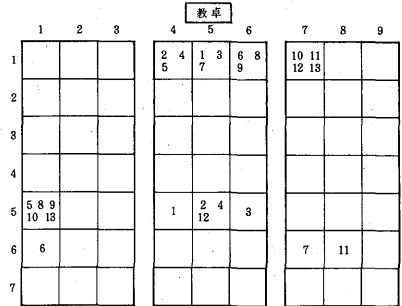


図8. 系5・系35の左右方向の座席移動軌跡
1～13は授業回数

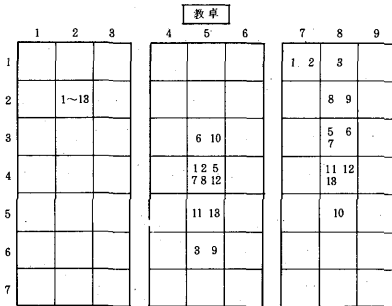


図9. 系10の固定席と系31・系8の前後方向の座席移動軌跡
1～13は授業回数

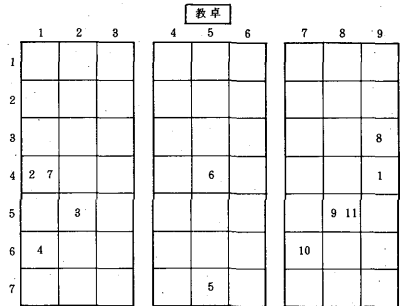


図10. 系46の座席移動軌跡
1～13は授業回数

引用文献

- 池田 央・渋谷和憲 1980 教室における着席行動と学習状況の分析 日本教育心理学会 第22回総会発表論文集 664~665
- 北川歳昭 1977 教室内の座席行動(1) その一貫性および成績との関係 中国四国心理学会論文集 第10巻 54
- 北川歳昭 1979 教室内の座席行動(3) 座席位置と好悪感情 中国四国心理学会論文集 第12巻 97
- 北川歳昭 1980 教室内の座席行動(4) 座席選択理由の分析 中国四国心理学会論文集 第13巻 100
- 北川歳昭・平松芳樹 1980 短大生の座席行動 (I) 座席位置と不安得点 日本心理学会 第44回大会発表論文集 523
- 北川歳昭・網島啓司 1980 短大生の座席行動 (II) 座席位置とYG尺度 日本心理学会 第44回大会発表論文集 574
- 北川歳昭・平松芳樹 1980 短大生の座席行動 (III) 座席位置と興味尺度得点 日本心理学会 第44回大会発表論文集 575
- 北川歳昭 1981 短大生の座席行動 (IV) 座席位置の移動と性格特性 日本心理学会第45回大会発表論文集 593
- 古澤 暁 1981 教室における着席行動に関する研究 中国四国心理学会論文集 第14巻 99